

平成 16 年 10 月 23 日

## 講 師 略 歴

### 続木善夫氏

大阪府立農業専門学校（現大阪府立大学農学部）農芸化学科卒業後、1953 年にブラジルへ移住。ブラジルでは、コチア産業組合、営農指導部に勤務の後、バイエル社ブラジル支社農薬販売部に勤務。1963 年には農薬販売会社設立。ブラジル南部に 11 支店を設ける。1973 年、農薬に頼るによる病虫害防除に行き詰まりを確信し、農薬販売事業を中止。無農薬栽培技術の研究、及び野菜の有機栽培農場を始める。

### 西尾道德氏

1969 年東北大学大学院博士課程修了（土壌微生物専攻）の後、1969 年から 2000 年まで農水省の旧農事試験場、農業研究センター、草地試験場、農業環境技術研究所に勤務。土壌微生物研究及び研究管理に従事。2000 年 4 月に農業環境技術研究所所長を退職し、筑波大学に移る。2004 年 3 月筑波大学農林工学系教授退職。専門は土壌肥料学。日本土壌肥料学会元会長（1999 年 4 月～2002 年 4 月）。

### 大橋正明氏

恵泉女学園大学人文学部国際社会文化学科勤務。ならびに(特定非営利活動法人)シャプラニール＝市民による海外協力の会理事。1978 年早稲田大学政経学部卒業の後、インド国立ヒンディー語学院留学（インド政府招聘留学生）、88～90 年 米国コーネル大学大学院国際農業・農村開発プログラム修士修了(国際開発センター奨学生)。恵泉女学園大学ならびに大学院教授（NGO 論、社会開発論、修士論文指導）、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科非常勤講師(NGO・NPO 論)、一橋大学社会学部非常勤講師(地域研究)。

### 源由理子氏

国際開発コンサルタント（個人）、立教大学大学院、明治大学大学院兼任講師、NPO法人 アーユス仏教国際協力ネットワーク理事。専門は、事業評価、社会開発、参加型開発。日本評価学会（研修委員会共同委員長）、全米評価学会、日本NPO学会に所属。国際基督教大学教養学部社会科学科卒業の後、アメリカ国際経営大学院修了、国際経営学修士取得(Master of International Management)。

## 東ティモール プロジェクト形成調査団員構成

- \*釜野徳明氏 (特定非営利活動法人 日本ケナフ開発機構 理事長)  
土壌・植生専門家、有機農法専門家 団長
- \*田中 博氏 (特定非営利活動法人 ヒマラヤ保全協会 事務局長)  
有機農法専門家 団長補佐
- \*金丸智昭氏 (特定非営利活動法人 ピースウィンズ ジャパン 海外事業部 第3グループ リーダー) 社会開発専門家、地域専門家、日本語—現地語通訳
- \*池田晶子氏 (特定非営利活動法人 21世紀協会 理事長)  
参加型開発手法ファシリテーター、和英通訳
- \*高橋径子氏 (財団法人オイスカ 地域第一部主任)  
ロジ関係手配担当、および社会開発中の植林関連専門家
  
- \*野澤眞次 (特定非営利活動法人 サパ=西アフリカの人達を支援する会 事務局長)  
有機農法専門家、ミッション・アドバイザー
- \*米山敏裕 (特定非営利活動法人 地球の友と歩む会 事務局長)  
ミッション・アドバイザー、JANARD代表

### ミッション派遣日程 (予定)

第1回 平成17年1月13日—27日

第2回 平成17年2月13日—22日

以上